

学年：5年	単元名：考える力をのばそう ー和や差に注目して（表を使って考える）
-------	--------------------------------------

### 1. 単元目標：（全2時間）

○変化する2つの数量をその和や差に注目して、表に表すことを通して、変化の規則性を見出し問題を解決する能力を伸ばす。

考判表・対応する数値を表した表から対応の規則性を式に表し、その式の意味を考える。

知・技・問題場面を表に表すことができる。

・関係を式に表すことができる。

### 2. 指導内容

- ・図、表、式を用いて数量の規則性を見つける問題解決

### 3. 指導のポイント

○きまりを表に表す。

- ・実際の数値を当てはめて、表を作りそこからきまりを見つけるようにする。

表には、必ず「縦のきまり・横のきまり」がある。

横のきまり：言葉での表現になる場合が多い。随時答えを出していく必要がある。

本単元の場合

縦のきまり：式に表すことができる場合が多い。

### 4. 指導にあたって

①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。

②それを通してどんな子どもに育てたいか。

表をかいて、答えを求めよう。

1. つよしさんは、去年1200円貯金して、今年の1月から毎月200円ずつ貯金しています。  
まいさんは、去年は貯金がなく、今年の1月から毎月350円ずつ貯金を始めました。  
何月になると2人の貯金の金額が等しくなりますか。

	去年	1月	2月	3月	4月				
つよし (円)	1200	1400							
まい (円)	0	350							

2. 川の西側と東側をつなぐ、ながさ285mの橋を建設する工事をしています。  
西側は、昨日までに30m造り、今日から毎日6mずつ造ります。  
東側は、今日から造り始め、毎日9mずつ造ります。  
西側と東側がつながるのに、あと何日かかりますか。

	昨日まで	1日	2日	3日	4日				
西側 (m)	30	36							
東側 (m)	0	9							

